

編集後記

今年度も無事、年報『真宗文化』第三十二号を刊行することができました。ご執筆くださったみなさま、ご支援くださったみなさまに心より感謝申し上げます。本号には、第一〇五回「大藏会」の講演録二本と、研究論文四本が掲載されており。

コロナ禍も三年目となった令和四年度は、少しずつ、足踏みしていた社会が動き出した年といえるのではないのでしょうか。コロナ禍でこの数年活動が途絶えていた京都仏教各宗学校連合会の活動の一環である「大藏会」も、三年ぶりに京都光華女子大学において、法要及び講演会が開催されました。その講演録が本号には掲載されており。

今年度は、真宗文化研究所の主要行事である「聖蹟巡拝」も、対面で開催することができました。親鸞聖人ゆかりの地である比叡山延暦寺を参拝したのです

が、学生さんたちの笑顔と共に参拝できたことは、人と出合い語り合うことの大切さを再確認する場となりました。ご講師の東館先生、情熱的な解説をありがとうございます。

渡邊愛子先生による「聖典読書会」は、令和四年の五月に惜しまれつつも、最終回を迎えました。渡邊先生は、平成一六年度から長きにわたって「聖典読書会」の講師を務めてくださいました。渡邊先生、長い間本当にありがとうございました。

また、本号には、今年度の委嘱研究員である英亮、研究員である藤永伸、稲葉維摩の研究論文と、富田真理子の研究論文を掲載しております。ご味読いただき是非感想をお聞かせください。

令和四年はロシアによるウクライナ侵攻もあり、平和について考えさせられる年となりました。真の平和を目指すためには、思考停止し、どちらが悪と決めつけるのではなく、自らの心にも存在する悪を振り返っていく姿勢が必要なのでは

ないでしょうか。厳しい社会状況の中でも、怠ることなく歩んでいかねばと思います。どうか今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。
(FO)

真宗文化 第三十二号

令和五年三月一日 発行

京都光華女子大学
発行 真宗文化研究所

所長 小澤 千晶

京都市右京区西京極葛野町三八
電話 〇七五(三)五三三(三)

E-mail skk@mail.kokac.jp

URL <http://www.kokac.jp>

印刷 協和印刷株式会社